

平成29年6月15日 / 毎月1回15日発行

医師と医師会を結ぶ情報紙

# 都医 NEWS

Vol. 616

平成28年度 湾岸四都市医師会懇談会  
 東京都医師会と医学生との連絡会 **01**  
 底流 / 地区医師会長連絡協議会報告 **02**  
 東京都医師会 定例記者会見 ほか **03**  
 八王子市医師会館落成式典・祝賀会 ほか **04**  
 みどりの広場 ほか **05**  
 ふれあいポスト **06**  
 都医からのお知らせ ほか **07**  
 地区医師会長からの一言 **10**

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部75円



## 東京都医師会と 医学生との連絡会



### 医学生向けの講演も実施

4月7日  
 (金)、6回目  
 となる東京都  
 医師会と医学  
 生との連絡会  
 が開催され  
 た。この会は

医学生が集まった。  
 清水氏は、ありふれた病態  
 でありながら大学における系  
 統講義では教わることで可  
 見られる片頭痛や緊張型頭痛

見交換が行われた。

医療開発委員会(織茂毅委員  
 長・田園調布医師会)が中心  
 となって企画しているもの  
 で、これまでの数回は医学生  
 に東京都医師会の活動を報告  
 し、医学生からは要望を聞い  
 てきた。今回は初めての試み  
 として医学生向けの講演を取  
 り入れ、清水俊彦東京女子医  
 科大学病院脳神経外科客員教  
 授より、「頭痛」に関する臨  
 床現場で見逃してはならない  
 事象について講演いただいた  
 た。インターネットを介して  
 参加を募ったところ、10名の  
 医学生が集まった。  
 講演後、目々澤理事より  
 東京都医師会役員と医療開発  
 委員会委員の紹介があり、本  
 年度から開始される医学生の  
 サークル活動に対する顕彰事  
 業についての説明があった。  
 また、終了後の懇親会では  
 講演いただいた清水氏も加わ  
 り、役員や委員と和やかに意  
 見交換が行われた。

## 平成28年度 湾岸四都市医師会懇談会

4月22日(土)、都内のホ  
 テルにおいて平成28年度湾岸  
 四都市医師会懇談会が開催さ  
 れた。湾岸四都市とは東京湾  
 を囲む千葉市、川崎市、横浜  
 市、東京都の4自治体で、こ  
 れらの医師会が年に一度の持  
 ち回り当番で懇談会を開催し  
 ている。十四大都市医師会連  
 絡協議会ですてにお互いの顔見  
 知りではあるが、関東プロッ  
 クの各県医師会との付き合い  
 とは違う意味で、いわば都会  
 の医師会ならではの話題を  
 中心に講演会形式で会を進  
 め、その後懇親会を行ってい  
 る。

これまでは当番医師会のご  
 当地で開催されるのが恒例で  
 あったが、昨年度は千葉市医  
 師会主催で2月に東京で開催  
 され、今回も横浜市医師会主  
 催で都内の同ホテルで開催さ  
 れた。互いに接している都市  
 とはいえ、立地的にその中心  
 にある東京が交通の利便性を  
 考えても集まりやすいとい  
 う、参加者共通の認識があっ  
 たからである。

その後の懇親会では  
 主催の横浜市医師会か  
 ら役員の自己紹介、さ  
 らに東京都医師会の橋  
 本雄幸理事から本年10  
 月開催の十四大都市医  
 師会連絡協議会の内  
 容が告げられた。引き  
 続き、活発な意見交換  
 がなされ、非常に和や  
 かな雰囲気では終了  
 した。



東京都医師会からは  
 猪口正孝副会長、近藤  
 太郎副会長、平川博之  
 理事、橋本理事、天木  
 聡理事の5名が出席  
 し、ほかに川崎市医師  
 会4名、千葉市医師会  
 6名、横浜市医師会13  
 名が出席した。

# 底流

## 新たな医療事故調査制度の 検討課題等

医療事故調査制度の施行から1年6カ月、医療機関と支援団体の連携体制は整ってきた。今後は、本制度の対象か否かを医療機関が速やかに判断できるようにすることが重要だ。

### 1 はじめに

新たな医療事故調査制度の施行から約1年6カ月が経過したが、支援センター（以下、単にセンターと記載する）である日本医療安全調査機構への報告は、概ね1カ月30件前後で安定して推移している。これまでの経過を踏まえた本制度に対する評価や検討課題等について、以下に述べる。

### 2 本制度がうまく機能

### 3 今後の検討課題

### 4 本制度の向かう先

### 5 今後の検討課題

### 6 東京都医師会・医療廃棄物適正処理推進事業につ

### 7 タバコフリーサミット2

### 8 東京都医師会から報告

### 9 その他

## 地区医師会長 連絡協議会報告

平成29年5月19日（金）

### ◎都医からの伝達事項

（1）平成28年度在宅難病患者訪問診療事業第4四半期地区医師会別実施状況について  
第4四半期は131件、平

成28年度総数は516件であった。  
（2）平成29年度東京都難病指定医の指定に係る研修の実施について  
対象者は、①研修終了により、新規に難病指定の指定を受けることを希望する医師、②研修終了により、既に指定を受けている医師（1コース）から始まる指定医番号）で当該指定の更新を希望する医師。

日程および研修会場は、第1回平成29年6月25日（日）明治大学駿河台キャンパス、第2回平成29年10月29日（日）首都大学東京南大沢キャンパス、第3回平成30年1月21日（日）明治大学中野キャンパス。  
（多職種ネットワーク構築事

業）および東京都在宅医等相互支援体制構築事業（24時間診療体制構築事業）に係るアンケート調査結果の報告について、「3 東京都の事業説明（1）地域医療構想を踏まえた都の在宅療養の取組について、②健康安全全部業務課で行っている在宅療養の取組（東京都薬剤師会委託）について。」  
連絡会終了後、同会場において参加者同士の交流の時間を設けている。

（4）第19回「日本医師会指導医のための教育ワークショップ」（東京都医師会主催）の開催日程のお知らせについて  
今年度のワークショップは、

10月28日（土）と29日（日）、東京都医師会館で開催予定。参加資格は東京都医師会員で指導医の要件である臨床経験（7年以上）を有する医師（見込みも含む）、研修医を受け入れているあるいは受け入れる意向のある者である。  
（5）平成29年度第1回検案業務サポーター研修会の開催について  
6月29日（木）午後7時から三鷹産業プラザで開催する。主催は東京都医師会、東京慈恵会医科大学。本研修会は、多摩地区における検案の精度向上と新たな検案医を確保するための研修等を実施し、東京都の死因究明体制の充実を図ることを目的として

（6）東京都医師会・医療廃棄物適正処理推進事業について  
業者の不法投棄により、排出事業者である医療機関が巻き込まれる可能性がある。また、産廃管理表交付等報告書（マニフェスト）の平成27年度提出率は46%であり、医療機関の半数が違法状態である。罰則（6カ月以下の懲役または50万円以下の罰金、適用の可能性もある。適正処理については、東京都医師会が以前から医療廃棄物適正処理推進事業として取り組んできた。認定優良業者に委託し、東京都環境公社の電子マニフェストを利用することにより、不法投棄リスクを排除し、報告書提出を確実にする。また排出事業者（医療機関）の責務である委託施設の実施確認は、東京都医師会が行う。

各地区医師会には次の対応をお願いする。①事業参加医師会（22地区医師会）は、説明会の開催等により参加する会員の拡大を推進する。②医師協同組合等利用医師会（13地区医師会）は、電子マニフェストの活用等により、報告書提出の徹底を推進する。③未採用医師会（11地区医師会）は、本事業の採用をお願いするとともに会員の利用を推進する。

（7）タバコフリーサミット2  
本サミットは毎年開催されている。今回の主催は厚生労働省、東京都医師会、日本対がん協会。5月27日（土）午

前に関する課題が特に重要ともいえる。  
本制度が円滑に機能し、再発防止策の策定に大いに役立つ成果を生むと判断されれば、医療の安全の確保を医療界に任せることに対する国民からの信頼が生まれるであろう。そうした信頼が確固たるものになれば、例えば刑事事件において、本制度の調査を尊重した捜査が行われるような運用や法の改正等がなされることも必ずしも夢ではなくなるのではないかと。

とすれば、本制度の向かう先は、医療事故調査の誠実な実施により的確な成果を生み医療界への信頼を獲得すること、そうした成果や信頼獲得を踏まえた事故調査に関する新たな法改正等の土台を作ることに言えよう。  
（小林弘幸）

（6）東京都医師会・医療廃棄物適正処理推進事業について  
業者の不法投棄により、排出事業者である医療機関が巻き込まれる可能性がある。また、産廃管理表交付等報告書（マニフェスト）の平成27年度提出率は46%であり、医療機関の半数が違法状態である。罰則（6カ月以下の懲役または50万円以下の罰金、適用の可能性もある。適正処理については、東京都医師会が以前から医療廃棄物適正処理推進事業として取り組んできた。認定優良業者に委託し、東京都環境公社の電子マニフェストを利用することにより、不法投棄リスクを排除し、報告書提出を確実にする。また排出事業者（医療機関）の責務である委託施設の実施確認は、東京都医師会が行う。

（7）タバコフリーサミット2  
本サミットは毎年開催されている。今回の主催は厚生労働省、東京都医師会、日本対がん協会。5月27日（土）午

（8）東京都医師会から報告  
（1）中央ブロック  
（2）城東ブロック  
（3）城西ブロック  
（4）第14回玉川医療フォーラムについて（玉川医師会）  
（5）「たばこの害」についての話（世田谷区立九品仏小学校）

（9）その他  
（1）子どもを受動喫煙から守る条例」の制定を求める要望について（玉川医師会）  
（2）「離乳食ブック」について（中野区医師会）  
（3）城南ブロック  
（4）品川区医師会員による予防接種事故の詳細と対応について（品川区医師会）  
複数のワクチンを混ぜて接種していたとの報道があった。再発防止のため会員に研修と指導を徹底する。

（5）城北ブロック  
（6）多摩ブロック  
（7）大学ブロック

（8）東京都医師会から報告  
（1）中央ブロック  
（2）城東ブロック  
（3）城西ブロック  
（4）第14回玉川医療フォーラムについて（玉川医師会）  
（5）「たばこの害」についての話（世田谷区立九品仏小学校）

日本医師会 — ご加入のおすすめ —

**医師年金**

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。  
日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます（申し込みは64歳3カ月までをお願いします）。

**受取年金額のシミュレーションが  
できます！** 医師年金 検索 <http://www.med.or.jp/nenkin/>

【シミュレーション方法】  
トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

【仮申込み方法】  
「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金・税制課 ☎03-3942-6487（直）（平日9時半～17時）

# 東京都医師会 定例記者会見



定例記者会見が5月17日（水）、天木聡理事の司会にて東京都医師会館で行われた。尾崎治夫会長が「Tobacco Free Summit TOKYO 2017 について」を、角田徹副会長が「増加する性感染症について」を話した。

尾崎会長は、5月27日（土）に東京で開催される第17回全国禁煙推進研究会について、今回の特徴は、禁煙に熱心に取り組んでいる団体や、がんに関する患者さんの団体が多数後援していることと説明した。午前には基調講演「受動喫煙防止対策の徹底について」と「タバコフリーオリンピックをめぐって」と題したシンポジウムが開かれる。午後からは東京都医師会主催で、「東京の空気が一番、おこしくなる日。」と題し、電子タバコや遠隔診療による禁煙指導、地域ネットワーク

尾崎会長は、5月27日（土）に東京で開催される第17回全国禁煙推進研究会について、今回の特徴は、禁煙に熱心に取り組んでいる団体や、がんに関する患者さんの団体が多数後援していることと説明した。午前には基調講演「受動喫煙防止対策の徹底について」と「タバコフリーオリンピックをめぐって」と題したシンポジウムが開かれる。午後からは東京都医師会主催で、「東京の空気が一番、おこしくなる日。」と題し、電子タバコや遠隔診療による禁煙指導、地域ネットワーク



■参加メディア  
日本医事新報社、クリニックマガジン、じほう、医学書院、日本医療企画、医薬経済社、エムスリー、CBnews、朝日新聞、東京新聞、TOKYO MX (敬称略)

増加する性感染症について、尾崎副会長が、近年梅毒が急速に増加しており、2016年は全国で4518人と1974年以来の4000人を超えてあると報告した。東京都の感染症発生動向調査では、結核を除いて2015年、2016年と二位になっており、2016年は全国の約3分の1である1673人に及ぶ。東京都の年齢別報告率を見ると、20代から30代前半までの女性の感染者が非常に増えており、早急な対策が必要であると警鐘を鳴らした。

今後の取り組みとしては、マスメディアの力も借りて一般市民に対して梅毒が身近な感染症であると注意喚起をし、検査・予防などさまざまな情報提供をしていきたいと話した。

質疑応答では、一般の関心を反映して受動喫煙防止に関するものが集中した。「医師会として、どのような形でどこまでを目指しているのか」という質問に対し尾崎会長は、「いろいろな活動を行ってきたが、国レベルでは現状としては十分な規制とならない可能性があるが、少なくとも東京都として受動喫煙防止の法的整備をするのが、最も実現可能な方法ではないかと考えている。客はもとより、従業員の受動喫煙の害も考えれば、例外なく屋内禁煙を守ってもらいたい」との考えを示した。

## 平成29年度 東京都難病指定医研修

東京都では、難病指定医の果たす役割や臨床調査個人票(新規および更新用)の作成に必要な指定難病の診断または治療に関する一般のおよび専門的知識を習得するため、難病指定医の指定を受けることを希望する医師等を対象に研修を実施いたします。

研修日程等 ※第1回の申込みの受付は終了しています。

日程	会場	講演対象疾患	定員	申込期限
第1回 平成29年 6月25日(日) 14:00~17:30	明治大学 駿河台キャンパス (千代田区神田駿河台1-1)	①パーキンソン病 ②原発性胆汁性胆管炎	350名	平成29年 6月2日(金)
第2回 平成29年 10月29日(日) 14:00~17:30	首都大学東京 南大沢キャンパス (八王子市南大沢1-1)	①全身性エリテマトーデス ②後縦靭帯骨化症	150名	平成29年 10月6日(金)
第3回 平成30年 1月21日(日) 14:00~17:30	明治大学 中野キャンパス (中野区中野4-21-1)	①潰瘍性大腸炎 ②脊髄小脳変性症	350名	平成29年 12月22日(金)

### お問合せ先

- 研修について  
運営委託業者：株式会社ライ 電話：03-3824-7231
- 指定医制度について  
東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課 電話：03-5320-4471

### 申込方法等

東京都福祉保健局のホームページで「難病指定医 研修」で検索してください。

## 東京消防庁救急相談センターについて

### 平成29年東京消防庁救急相談センター受付状況 (速報値)

[平成29年1月1日から3月31日まで]

	累計	前年件数	前年同時期増減 (増減比)	受付件数に 占める割合	前年同時期	一日あたりの 件数
総着信件数	97,786	103,536	-5,750 (-5.6%)			1,086.5
受付件数	91,256	95,766	-4,510 (-4.7%)			1,014.0
医療機関案内	51,331	58,785	-7,454 (-12.7%)	56.2%	61.4%	570.3
救急相談	39,738	36,798	2,940 (8.0%)	43.5%	38.4%	441.5
救急要請	7,526	6,993	533 (7.6%)	(※1) 18.9%	(※1) 19.0%	83.6
相談前救急要請	167	80	87 (108.8%)	0.2%	0.1%	1.9
かけ直し依頼	20	103	-83 (-80.6%)	0.0%	0.1%	0.2
その他(苦情)	0	0	0 (0.0%)	0.0%	0.0%	0.0

(※1) 救急相談件数に占める割合

看護師への医師助言	9,479	9,187	292 (3.2%)	10.4%	9.6%	105.3
通信員への医師助言	6,910	6,833	77 (1.1%)	7.6%	7.1%	76.8

### 新たに救急相談看護師9名および救急通信員12名が入职しました

#7119に勤務する救急相談看護師が9名入职して新たな仲間が増え、4月1日時点で救急相談看護師が48名になりました。いろいろな意見はありますが、救急相談の質を担保するために新入看護師の入职1カ月間は、全件で医師助言を求める体制をとっております。お忙しいなか時間を作って#7119に出務していただき、特に夜間看護師への助言に対応いただいた先生方には誠にありがとうございました。

また5月18日18時から、三浦邦久副医長が司会、森村尚登医長、石原哲医長および三浦副医長が講師となり、#7119に新たに勤務する医師に対する研修会を行いました。この研修会への参加者は、ぜひ可能な限り早く#7119に出務していただくと幸いです。また今回の研修会には参加できず、#7119に出務を希望する地区医師会や#7119の出務に対して質問事項がある会員の先生方は、東京都医師会地域医療課にご連絡ください。

5月26~28日に東京ビッグサイトで開催された臨床救急医学会学術集会で#7119展示ブースにお立ち寄りくださった先生方、5月28日午後、三浦副医長の#7119の発表を聴講していただいた先生方、お忙しいなか誠にありがとうございました。

# 八王子市医師会館落成式典・祝賀会



4月8日(土)、新医師会館の内覧会が催された。同日、市内のホテルで、新医師会館落成と八王子市医師会40周年・医師会立訪問看護ステーション20周年の記念式典、祝賀会が盛大に開催された。

シオン20周年の記念式典、祝賀会が盛大に開催された。佐々木容三八王子市医師会長は式辞の中で、八王子市医師会発足後、南多摩郡八王子市医師会、昭和36年に八王子市医師会が設立され、昭和52年に社団法人格を取得したと医師会の沿革を述べた。

来賓を代表して横倉義武日本医師会長が祝辞を述べた。日本が超高齢社会を迎えるにあたり、各々の地域が地域医療構想、地域包括ケアを始めさまざまな計画を進める中で、八王子市医師会は行政との強固な信頼関係を基に、がん、生活習慣病における健康

管理、多職種連携などの中心となって活動しており、日本の先進的モデルに倣すと賞賛した。また尾崎治夫東京都医師会長は、八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会(八高連)が在宅の高齢救急患者の搬送に病院救急車を使う事業を展開するなど、八王子市医師会は超高齢社会に向けて、独自の発想で事業に取り組んでいると述べた。

石森孝志八王子市長は、2025年に向けて医師会と地域包括ケアを形成することへの期待を述べた。また八王子市出身の肥沼信次先生について、敗戦国ドイツに残り

## 武蔵野市医師会創立50周年記念講演会・祝賀会

4月22日(土)、都内のホテルで武蔵野市医師会創立50周年記念講演会・祝賀会が盛大に挙行された。開会の辞は中嶋伸武蔵野市医師会副会長より述べられた。

記念講演は田原順雄武蔵野市医師会副会長の司会で、天

間は為にすることがあってはいけない(為にする)ある目的に役立てようとする下心をもって事を行う)、真実を離れて偽りを行うことを自ら戒めることができる人生を歩む、という語りが印象的であった。

続く祝賀会は、石田雄二武蔵野市医師会副会長の開会宣言で始まり、渡辺滋武蔵野市医師会長の挨拶が行われた。

尾崎治夫東京都医師会長をはじめ4人の来賓の挨拶と乾杯の後、永年会員・職員功労者表彰が行われた。その後の懇親中には武蔵野市医師会の沿革が語られた。昭和2年頃に

井之頭医会が始まり、昭和9年頃に北多摩医師会に参加、昭和18年に北多摩6部会の中の第4部会となった。昭和36年頃には北多摩医師会武蔵野支部として活動し、昭和42年に北多摩医師会から独立して社団法人武蔵野市医師会が設立されたことのであった。

「の演題で行われた。講演では、3浪して入った大学仲間のことや、失敗の後心臓外科に進み、人との出会いに恵まれたことなど、人間「天野篤」の姿が語られた。特に「人

引き続いて、武蔵野市医師会50周年記念ユニットによるヒット曲メドレーが演奏された。祝賀会中に編集された当日

参加者の動画や写真が紹介され、会場は大いに盛り上がった。最後に、田原副会長の挨拶で会は締めくくられた。



渡辺滋武蔵野市医師会会長が挨拶

112 みどりの広場

スポーツドクターとして 思うこと

同愛記念病院院長 土屋正光



去る2月26日、東京マラソンのコース変更で、当院の北側の蔵前橋通りが新コースとなりました。当日は風もなく抜けるような青空で絶好のマラソン日和でした。先頭集団が走り抜けて1時間くらい経過すると、往路復路にランナーがうねりのように連なり、その光景は圧巻でした。しかしコース脇では、足のつりに対しストレッチをするラ

ンナーも少なくなく、また当院構内に設置された救護所では、80人を超えるランナーが膝痛や筋肉痛で治療を受けました。2020年の東京オリンピックを3年後に控え、スポーツ愛好家は確実に増えると思われ、スポーツドクターの出番はさらに多くなると思われます。私がスポーツドクターを指したのは、蔵前にあった国

技館が病院の南隣に移ってきたことに始まります。それまでも何人かの力士の診断・治療は行っていましたが、両国国技館になってからは、受診力士数が飛躍的に増えました。

その後、某プロ野球球団のチームドクターも務めるようになりまし。野球では圧倒的に肩・肘の傷害が多いのですが、腰、膝、足の傷害も少なくありません。スポーツドクターは、診断・治療に専門

て調べていましたが、そのうち動揺性の測定器が普及し、足の重さは以前ほど苦にならなくなりました。力士の膝前十字靭帯再建術も手術台、駆血帯、麻酔等を含め大変です。しかし靭帯再建術後、10年以上も幕内力士として活躍を続ける力士が出るようになる。再建術の有効性が客観的に評価されているように感じました。

知ってますか?

社会疫学

文化、社会システム、経済などの社会構造要因が、集団、個人の疾病罹患や健康状態に与える影響を明らかにし、そのメカニズムを解明しようとする疫学の一領域である。例えば子どもの貧困、教育が将来大人になってがん、脳血管障害、心臓病にどう関係しているか研究が進行中である。小児科医は今の病気を診ると同時に将来の大人、老人の視点も忘れないことが大事だ。

掲示板
かかりつけ医必携! 地域包括ケア時代における行動変容と継続支援
小谷和彦 編集
生活習慣病のコントロールには、患者の生活習慣を改善することが欠かせない。しかし、通り一遍のアドバイスだけではそれを変えることは難しい。本書では狭義の生活習慣病だけでなく、認知症、フレイル、慢性疼痛、ポリファーマシーにまつわる諸問題の解決法を、具体的な事例を通して解説している。行動科学を活用した禁煙支援、地域資源を用いた身体活動の維持・向上、記録式ICTによる食事指導、家族を視野に入れた糖尿病ケア、相互作用からアプローチする慢性疼痛ケア、医療連携によるポリファーマシーへの対応など興味深い項目が並んでおり、患者の行動変容を促すための入門書として役立つに違いない。



樹木のような豊島区新庁舎

豊島区の新名所は、新国立競技場でも有名な隈研吾氏の設計による、「木」をイメージした豊島区新庁舎です。地下鉄有楽町線東池袋駅と直結した、地下3階・地上49階、全国初のマンション一体型の新庁舎が平成27年3月に完成しました。建物名称は「としまエコミュゼタウン(人間と自然のつながりを探求する場所)」で、1、2階は区民

交流ゾーン、3階から9階は区役所として年末年始を除いた土・日も開庁し、廊下壁面には回廊美術館「新庁舎丸ごとミュージアム」が作られ、日本一便利でアートな区役所です。最新の環境技術を導入し、外観はエコヴェールという太陽光発電パネル、緑化パネルで覆われ、従来よりCO2排出量を45%以上抑えています。

豊島区新庁舎 日本一便利でアートな区民ファーストの区役所

趣味の散歩

1階のエントランスは9階までの吹き抜け空間となっており、天井からは明るい太陽の光と豊島の森からの緑がふりそそぎ、ガラス張りの全区役所が見渡せ、その中を7基のエレベーターが上下する様はまさに未来都市空間を思わせる風景です。奥にあると

(豊島区医師会・猪狩和子)

東京都損害保険医療協議会

本会では「東京都医師会」と「日本損害保険協会(南関東支部)」と「損害保険料率算出機構」が集まった三者協議会「東京都損害保険医療協議会」を概ね2カ月に1回開催し、自賠責保険に係る諸問題を検討しております。

自賠責保険に関して、会員の先生方が直面しているトラブル等を当協議会で検討することも可能な場合があります。

三者協議会に出席している

日本損害保険協会南関東支部代表の損害保険会社

- ◎ 三井住友海上火災保険株式会社
◎ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
◎ 共栄火災海上保険株式会社
◎ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
◎ 東京海上日動火災保険株式会社

(平成29年3月現在)

問合せ 東京都医師会 医療保険課 03-3294-8821

医師国保からのお知らせ

がん予防対策の推進について

～実は、東京都医師国保は他の保険者に比べ、がん患者数の割合が高いんです～

- 生活習慣を見直してみましょう
・タバコは吸わない、お酒はほどほどに
○ 定期的に区市町村等で実施しているがん検診を受けましょう
○ 当組合では、乳がん検診として乳房エコー検診を受けた方に費用の一部を助成いたします

詳しくは、組合員の方にお送りしました組合報でご確認ください

保健事業の申請書の一部は当組合ホームページよりダウンロードできます www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6431 (総務課)

# 心れあいポスト 各地区会報から

新宿区医師会

矢谷達樹

## 「ムーンリバー」の詩

仕事の後、近くのホテルのバーで過ごすことがある。流れてくる音楽は映画『ティファニーで朝食を』の主題曲ムーンリバーである。

弾いているピアニストの方が「ムーンリバーの詩の意味は深いですよ」と言われた。映画『ティファニーで朝食を』の主人公ホリー・ゴライトリー（オードリー・ヘップバーン）は、ニューヨークの下町のアパートに住みながら、ハドソン川の向こうのマンハッタンの大金持ちとの結婚を夢見る高級娼婦という役である。しかし、上の階に越してきた売れない作家と恋に落ちるといふあらすじである。

川にある月をアベックの2人が眺めているときに流れてくる曲。そう思っていたのだが、ネットで調べてみたところ「Moon River」は「月に照らされた川」。「rainbow's end」は「虹の端に眠る宝物」の意味。「my huckleberry friend」とは、幼馴染の意味。しかし和訳を読むと難解である。

アンディー・ウィリアムスはテレビのショーで、「じつはこの歌詞の意味にはわからないところがありますが、とにかく歌っています」と言っていたそうである。この曲の作詞家ジョニー・マーサーは、南部の故郷のバック・リバー川とニューヨークを流れるハドソン川を重ねて、若かりし日故郷を流れる月に照らされた川の前で志した想いを綴った歌詞と説明している。

後日、原作（トルーマン・カポーティ著／村上春樹訳）を読んでみた。第二次世界大戦下にニューヨークのアパートに引っ越ししてきた作家が主人公である彼女に恋心を持つが、彼女は1人でブラジルに行ってしまう。6年後、知り合いの日本人がアフリカ原住民から彼女の生首そっくりの木造彫刻の写真を持ち帰ったことから彼女と過ごしたアパート時代の話へと広がってゆくストーリーである。映画とは違っていた。

——自分といるいろいろなものが1つになれる場所は、ティファニーみたいなところ。タクシーを捕まえてティファニーに着くと途端に気分がスーとしてくる。ティファニーの店内（そんなにひどいことは起こらない場所。店内の静けさ、つんとすましたところ。隙のないスーツを着た親切な男の人たち、美しい銀製品やら、アリゲーターの財布の匂いのする場所）にいるみたいな気持ちにさせてくれる場所を、この現実の世界のどこかに見つければ家具もそろえ、猫に名前を付けてあげられる。

また次のようにも言っている。——私はニューヨークの街が好き。樹木や通りや家や、少なくともそんな何かしらは私の一部になっている。私自身もその一部になっている。腰を据えることのできる場所がすなわち故郷。私はそんな場所を今でも探し続けている。



Moulin Rouge (ムーラン・ルージュ)

練馬区医師会 野口眞利

モンマルトルの丘には、昔14個の風車があったと記載されています。現在は丘の上に2つ、そして下のクリッシー大通りに面して1つ、合計3個が残っている。このMoulin Rougeは今はキャバレーとして有名。昔はこんなだったでしょうか？

ここまで読んで私は思った。病気で両親を亡くした兄妹（Fredと私）が親類をたらい回しにされ、ミルクと卵を盗みに入った親切な家で育った。兄妹が近くの大きな川を前にして足を震わせ手を握り、安住の地に住めますようにと川に願いを込めている姿が想像される。

ムーンリバーの歌詞の中two driftersは兄のFredと自分。またmy huckleberry friendはmy huckleberry Fredと考えてみた。

「Moon river月が映っている大きな川、1マイルより大きいね。私はいつかこの川を胸を張って、立派になって渡ってみせる。夢をくれたり、心を打ち砕いたりしても、君は私と一緒にだよ。私と兄の2人はいろんな世界を渡り歩き、たくさんの世界を見たよ。私たちはそんなにひどいことが起こらない、腰を据えることのできる場所を探しているのだ。その場所がどこにあるのか待ち続けている。私の幼い時から一緒に兄FredそしてMoon riverと私」

今度、ピアニストの方にこの和訳を見てもらいたい。

（新宿区医師会誌 平成28年6月 第649号から抜粋）

# 無声拝聴

## ある小論文の問題

「あなたにはこれまで3年間真剣なお付き合いをしてきて、来年ぐらいに結婚を約束している彼なし彼女がいるとします。ところが2カ月前にふとしたことで知り合った別の人が好きになってしまい、今付き合っている人と別れる決心をしました。600字以内で別れの手紙を書いてください。これはある私立医大の入試での小論文の問題である。入試で恋愛経験の差が出る問題を出すのかとか、まじめに勉強しかしてこなかった学生にとっては大変とか、一部ではちょっと話題になった問題である。

付き合っている彼女(彼)と自分から別れを切り出した場合、ドロドロな状況になる人もいれば、うまく別れる人もいる。転院調整や在宅医療に係わっている医師に、納得していない患者さんや家族に転院や退院の話をするのも同じですと言われて、妙に腑に落ちたことを思い出した。確かに、話をする医師によってはドロドロとまではいなくても難航することもあれば、案外すんなり進むこともある。

望まない転院や退院の話だけでなく、病名の告知や病状の説明で、患者さんや家族が「聞きたくない話」をする機会は少なくない。「別れ話」のような「聞きたくない話」ができることは臨床医として求められている能力の一つかもしれない。これには、緩和ケア研修会や学術「Bad news telling」の方法を知ることや、真摯に患者さんや家族と向き合う経験が重要なのは言うまでもない。

一見、奇をてらったような小論文の問題だが、実は臨床医としての資質を押し測る上では良問と言えるかもしれない。そういうえば、「いい先生」と言われている大学の同級生は別れ話がうまくいったように思うのは気のせいだろうか。(徳原真)

## エンテロウイルスと子供のマヒ

# 感染症豆知識

東京都医師会  
感染症予防検討委員会

エンテロウイルス(EV)は手足口病やヘルパンギーナ等子供の夏風邪の代表的ウイルスで、ピコルナウイルス科に属しエンベロープを持たない一本鎖RNAウイルスである。塩基配列分類ではヒトに感染するのはA~Dの4種で、ポリオ、EV、コクサッキーAとB、エコーなど100種類以上の血清型がある。感染しても軽症か不顕性感染が多いが、無菌性髄膜炎、脳炎等の中枢神経系感染や弛緩性麻痺を起こすことがある。EVは一般に腸管で増殖し、便から検出される。

子供に麻痺を生ずるEVは10種余りあるが、特に小児麻痺の代名であるポリオ、手足口病の原因であるEV-71と、近年最も話題になり麻痺に関連しているとされるEV-D68がある。ポリオとEV-71はワクチンが開発され、ポリオはポリオ根絶事業により世界的根絶も近い。またEV-71は2015年に中国が世界初の不活化EV-71ワクチンを開発し、日本も現在開発を進めている。

EV-D68は2014年8月に米国で重症呼吸器症状を伴う大流行があり、その後弛緩性麻痺を生ずる症例が報告され全世界の注目を集めた。我が国でも2005~2015年に538例検出され、2015年には258例の大流行があった。髄膜炎等の神経症状は26例で、うち弛緩性麻痺は小児4例であった。麻痺は3~9病日に生じ、予後は不良で回復は難しい。EV-D68は、酸に弱く低温で分離されやすいため咽頭拭い液による検出が有効であるが、麻痺例の咽頭拭い液から検出されても髄液から分離されていないため、まだ原因ウイルスと確定されていない。現在、CDCや我が国でAFM(急性弛緩性脊髄炎)サーベイランスを行い原因究明を急いでいる。ワクチンや根本治療法はなく対症療法である。予防は流水と石鹸による手洗い、マスク、塩素系消毒剤による物品の消毒等である。

EVの病態は多彩で重症化もあるので、流行に備え、感染動向を注視し、早期発見、感染防止に努めることが大切である。(文責:黒澤サト子)

## 第34回 糖尿病Up・Date 賢島セミナー

### 「糖尿病性合併症へのシームレスな対応 —血管合併症の早期診断と予防—」

問合先 中部ろうさい病院 堀田 饒 名古屋市港区港明1-10-6  
TEL: 052-652-5511 FAX: 052-652-5623

日時▶ 8月26日(土) 14時~22時、27日(日) 8時20分~12時  
会場▶ 志摩観光ホテル ザクラシック(三重県志摩市阿児町神明731)  
セミナー▶ [26日] I 「糖尿病の病態からみた糖尿病性合併症対策」講演: 『低血糖と糖尿病性合併症』中村二郎(愛知医科大学)  
II 「糖尿病のケアと治療からみた糖尿病性合併症対策」講演: 『糖尿病性合併症を見据えた糖尿病の治療の今後』門脇 孝(東京大学)  
[27日] III 「予知と予防からみた糖尿病性合併症対策」講演: 『動脈硬化症からみた糖尿病』植木浩二郎(国立国際医療研究センター)  
申込方法▶ はがきに氏名、所属、住所、電話番号を明記のうえ、中部ろうさい病院事務局まで(定員100名)  
参加費▶ 50,000円(proceedings代、8月26日夕食・8月27日昼食含む)  
※宿泊費別途

都医 HP・E メール  
■ インターネット ホームページアドレス  
<http://www.tokyo.med.or.jp>  
■ Eメールアドレス  
[jimu@tokyo.med.or.jp](mailto:jimu@tokyo.med.or.jp)

# 都医からのお知らせ INFORMATION

## 第430回 国際治療談話会例会 「小児から成人への移行医療」

(公財)日本国際医学協会事務局  
世田谷区上馬1-15-3MK三軒茶屋ビル3F  
TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599  
E-mail: [admin@imsj.or.jp](mailto:admin@imsj.or.jp) URL: <http://www.imsj.or.jp/>

日時▶ 7月20日(木) 18時~20時  
会場▶ 学士会館2階 202号室(千代田区神田錦町3-28(駐車場無料) TEL 03-3292-5936)  
開会挨拶▶ 石橋健一((公財)日本国際医学協会理事長)  
司会▶ 市橋 光((公財)日本国際医学協会理事)

〔第1部〕  
講演▶ ①「小児から成人までのシームレスなりウマチ・膠原病治療を目指して」森 雅亮(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯免疫難病学 教授) ②「小児内分泌代謝疾患の移行期医療 — If you want to go far —」長谷川奉延(慶應義塾大学医学部小児科学教室 教授)

〔第2部〕  
感想▶ 「ことわざにみられる日本とドイツの文化比較」伊藤 眞(筑波大学人文社会科学研究科文芸・言語専攻 教授)  
会費▶ 会員5,000円、非会員6,000円、学生2,000円  
取得単位▶ 日医生涯教育制度1.0単位取得予定(カリキュラムコード: 10、0)、(公財)日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度1単位

## 第38回 慈恵医大夏季セミナー 「見逃せない! めまいと頭痛のアップデート」

問合先 慈恵医大生涯学習センター 港区西新橋3-25-8  
TEL: 03-3433-1111(内線2634)

日時▶ 8月5日(土) 16時~18時30分  
会場▶ 東京慈恵会医科大学 大学1号館講堂(3階)  
司会▶ 橋本和弘(心臓外科)  
講演▶ ①「めまい、頭痛の鑑別診断 —神経内科の立場から—」豊田千純子(神経内科) ②「頭痛をきたす眼科緊急疾患」敷島敬悟(眼科) ③「めまいをきたす代表的な内耳疾患」近澤仁志(耳鼻咽喉科) ④「鼻副鼻腔疾患にともなう頭痛について」鴻 信義(耳鼻咽喉科)  
※懇親会(東京慈恵会医科大学附属病院中央棟会議室8階)  
申込方法▶ はがきに、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、所属医師会、懇親会出欠を明記のうえ、7月29日(土)までにお申し込みください。  
取得単位▶ 日医生涯教育制度2.5単位(カリキュラムコード: 12、30、32、33)

# 日本医師会生涯教育講座

日時 平成29年7月6日(木)  
午後2時～5時  
場所 東京都医師会館 2階講堂  
(千代田区神田駿河台2-5)  
TEL:03-3294-8821(代表)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位  
カリキュラムコード 73、76  
日本内科学会認定総合内科専門医更新単位 2単位

## 糖尿病腎症の治療

座長 東京都医師会理事

未定

東京大学医学部附属病院

腎臓・内分泌内科講師

田中哲洋先生

金沢大学大学院腎臓内科学教授

和田隆志先生

東京都医師会  
小野薬品工業株式会社  
共催

### 血糖降下薬の腎臓への影響および 新規糖尿病治療薬について

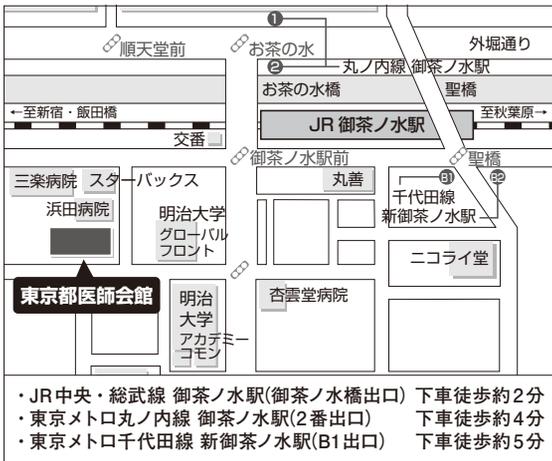
田中哲洋先生

糖尿病を背景に有する慢性腎臓病は、透析療法導入原疾患の第一位を占める。レニン・アンジオテンシン系(RAS)阻害薬はアルブミン尿を減少させ、腎症の進行抑制に多大なる福音をもたらしてきた。一方、新規糖尿病性腎臓病治療薬に対するニーズは、患者数の増加による医療・社会経済面の負担を背景にますます高まっている。DPP-4阻害薬などのインクレチン関連薬やSGLT2阻害薬が本邦でも相次いで承認され、血糖降下薬として広く使用されるようになった。近年の大規模臨床試験から、これらの薬剤による血糖降下作用とは独立したアルブミン尿減少効果や腎症の進展抑制効果が次々に報告されている。現在ヒト臨床試験進行中の新規糖尿病性腎臓病治療薬も含め、糖尿病治療薬の腎臓への影響について話題提供を行いたい。

### 糖尿病腎症：現況と治療の進歩

和田隆志先生

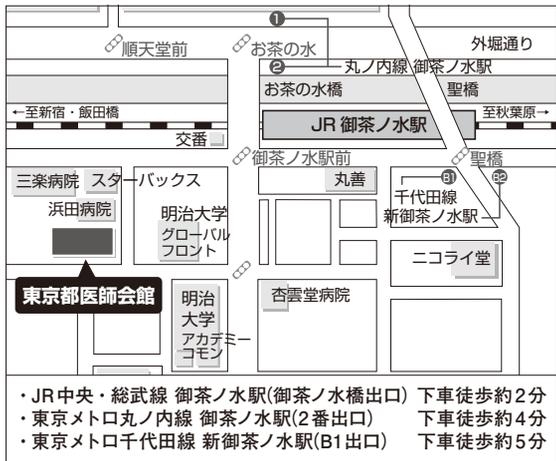
糖尿病腎症は細小血管障害により生じ、新規透析導入、慢性透析患者のいずれも最大の原疾患である。そのため、超高齢社会を背景にした本邦での病態解明、予防とさらなる予後改善、それに向けてのエビデンスの一層の蓄積が求められている。早期糖尿病腎症は微量アルブミン尿が出現した時点で鑑別診断をしようとして臨床的に診断する。しかしながら、アルブミン尿を認めない腎機能が低下した糖尿病例も存在し、増加していることが報告されている。近年、病態や予後を反映するバイオマーカー開発も進んでいる。さらに、生活習慣改善に加えて、血糖・血圧・脂質コントロールなどの包括的な治療により、寛解例も報告されている。今回、糖尿病腎症の現状に加え、臨床病態ならびに治療の進歩についてお話しさせていただく。



# 日本医師会生涯教育講座

日時 平成29年7月27日(木)  
午後2時～5時  
場所 東京都医師会館 2階講堂  
(千代田区神田駿河台2-5)  
TEL:03-3294-8821(代表)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位  
カリキュラムコード 20、82  
日本内科学会認定総合内科専門医更新単位 2単位



## 睡眠障害を考える

座長 東京都医師会理事

未定

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院  
睡眠呼吸器科部長

成井浩司先生

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIRIS)  
機構長・教授

柳沢正史先生

共催 東京都医師会  
MSD株式会社

### 小児と女性の睡眠時無呼吸症候群について

成井浩司先生

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は日中の眠気と夜間の大きなイビキが特徴である。働き盛りの男性を中心として、CPAPという鼻にマスクを装着して眠る治療機器を使用している患者数は年々増えているが、それでも診断されていない患者さんが数多く隠れている。とくに女性は検診を受ける機会が少なく、またイビキの治療ということから受診に対する抵抗もあると思われる。圧倒的に治療に至る数が少ない。

日本人の骨格は顎が小さめであり、肥満ではないSAS患者が少なくない。女性のSASにはこのタイプが多く、CPAPのほかにマウスピース治療のよい適応となる。また小児のSASは成長や発達に関わる重要な問題であるにもかかわらず見過ごされがちである。肥満の中年男性だけではない多様なSASについて症例を交えてご紹介したい。

### 睡眠・覚醒の謎に挑む「オレキシン系の発見からフォワード・ジェネティクスへ」

柳沢正史先生

睡眠・覚醒は中枢神経系を持つ動物種に普遍的な現象であるが、その制御メカニズムや眠気(睡眠圧)の神経科学的本態は、いまだ謎に包まれている。

されている。

覚醒系を司る神経ペプチド「オレキシン」の十数年にわたる研究により新しい睡眠学が展開され、近年では睡眠・覚醒のスイッチングを実行する神経回路や伝達物質が少しずつ解明されつつある。昨年、内因性覚醒系を特異的に抑える新しいタイプの不眠症治療薬として、オレキシン受容体拮抗薬が上市された。また、覚醒障害ナルコレプシーの根本病因がオレキシンの欠乏であることが判明しており、オレキシン受容体作用薬はナルコレプシーの病因治療薬、さらには種々の原因による過剰な眠気を抑制する医薬品となることが期待

一方、睡眠覚醒調節の根本的な原理、つまり「眠気」とは一体何なのか、またそもそもなぜ睡眠が必要なのか等、睡眠学の基本課題は全く明らかになっていない。私たちはこのブラックボックスの本質に迫るべく、ランダムな突然変異を誘発したマウスを8000匹以上作成し、脳波測定により睡眠覚醒異常を示す少数のマウスを選別して原因遺伝子変異を同定するという探索的アプローチを行ってきた。このフォワード・ジェネティクス研究の進展により、睡眠覚醒制御メカニズムの中核を担うと考えられる複数の遺伝子の同定に成功し、現在その機能解析を進めている。

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医<sup>ニュース</sup>NEWS

2017

Vol.  
616

## 地区医師会長からの一言

## 順天堂大学医師会の活動について

順天堂大学医師会長 新井 一



学校法人順天堂は、「不断前進」の理念のもとに学是「仁」に則り、5学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療を通じて、国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めています。順天堂医院（東京都文京区1,020床）、静岡病院（静岡県伊豆の国市577床）、浦安病院（千葉県浦安市659床）、順天堂越谷病院（埼玉県越谷市226床）、順天堂東京江東高齢者医療センター（東京都江東区404床）、練馬病院（東京都練馬区400床）からなる附属病院群の総ベッド数は3,286床となり、大学附属病院としては日本最大規模を誇っています。6附属病院は相互に強固なネットワークを形成し、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、国民の医療ニーズに幅広く対応しています。また、順天堂は高い専門性と総合性に秀でた医療機関として、医学・医療の分野で全国さらには国際レベルでさまざまな施設との連携を強めています。

このような背景のなか、順天堂大学医師会は、医道の高揚、医学・医術の発達普及および公衆衛生の向上を図るとともに、大学本来の目的である教育と研究の使命達成を目途に、平成8年4月1日に設立されました。発足当初の会員数は322名、平成18年には776名、平成28年12月1日現在では849名となっており、会員は主に順天堂大学・順天堂大学医学部附属病院に在籍している医師により構成されています。順天堂大学医師会の事務局は、順天堂医院内にある医療サービス支援センター地域医療連携室内に設置され、下記の活動を展開しています。

## 活動内容

1 産業医の資格取得の推進を目的とした産業医研修会の開催

- 2 地区医師会等から寄せられる講演依頼に対する講師派遣等の調整業務
- 3 学術の進歩普及への貢献を目的とした日本医師会、東京都医師会並びに地区医師会との連携活動
- 4 地区医師会を対象にした医療連携業務の推進
- 5 学部学生、大学院生、臨床研修医の教育・福利厚生に関する支援

順天堂大学医師会では、ベストプロフェッサー賞、ベストチューター賞、ベストクリニカルフェロー賞を設け、毎年学生の投票により選出された教育に熱心な教員を表彰することにより、医学教育の質向上に寄与しています。また、順天堂大学医学研究科博士課程には4学年で約600名の大学院生が在籍していますが、その多くは医師の資格を持ちながら学生の身分となるため、これらの大学院生のために医師会事務局が東京都医師国民健康保険組合加入の窓口業務を担っています。

地域医療連携室内に事務局を構える順天堂大学医師会は、大学医師会のなかでも特異な存在であります。ベースとなる医師会活動を行いつつ、地域医療連携室と協働し、各地区医師会との顔の見える医療連携を推進することで、大学医師会の新たなモデルケースになりたいと考えています。また、医学部卒前教育においては診療参加型臨床実習の重要性が指摘されていますが、そのなかで学生の地域医療実習については、地区医師会のご協力を仰ぎながら、大学医師会が基点となってこれに当たるといった体制整備も進めていきたいと思っています。今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。